

HIO YOG

教区新報

発行所 浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

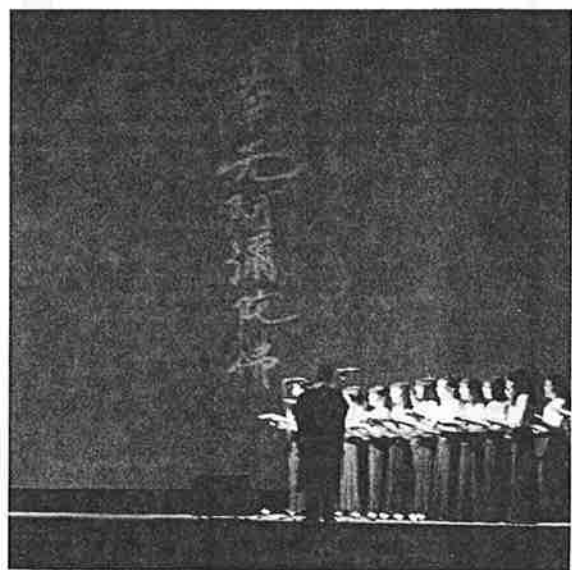
1990. 11. 40号

兵庫教区御同朋総結集大会が去る十一月七日、神戸ポートアイランドホールに藤音晃祐総長はじめ御来賓の方々を迎えし、オーロラビジョンにご門主様のお

ことばをいただき教区内の僧侶や門信徒七千人の参加を得、盛大に開催された。今大会は「宗門の基幹運動である門信徒会運動・同朋運動を進める上で、大

神戸ポートアイランドで大会

御同朋七千が総結集



「南无阿弥陀仏」が浮かびコーラスの歌声が……

な障害となっていた兵庫教区の組画が変更されて五年を経た今日」とご門主のことばをはじめにもあったように、兵庫教区の門信徒が一同に集い御同朋の社会をめざして力強い一歩をふみ出す大会として開催されたものです。

つぎにステージに大会会長の小滝了信教務所長があ

がり挨拶、藤音晃祐総長祝辞で開会式を閉じ、久堀弘義師(神戸湊組行願寺)の法話、そして西池哲俊師(出石組勝林寺)の問題提起の

あと、この大会の為に小池俊文師(山口教区教證寺)が監修し、兵庫教区制作のスライド「青空の下で」が上映された。



教団への
疑心暗鬼。
自分の寺・
自分の門徒
さえしっか
りしておれ

長い組画が決まり、昭和六十年四月一日、新組画発足の記念式典が盛大に行われた日のことなどから、新組となった組や教区での取り組みや問題点などもスクリーンに映し出され「世界に広く開かれた兵庫教区の歩み」が、二十一世紀に向かって力強く前進することでありましょう」と結ばれた。

昼食をはさんで午後一時より歌手の高石ともや氏の歌とかがりがあり、続いてシンポジウム「めざめ」が

福岡光超師(龍谷大教授)・村越末男師(大阪市立大学

教授)・武邑尚邦師(本願寺

派勧学)をパネラーにして

西脇正文師(揖電西組超念

寺)の司会で、組画変更を

ふまえて教団の歴史と現状、

今後の展望を三師の視点から

話し合った。

開会式には参加者を代表

して中西正一氏(赤穂北組

明専寺門徒)から大会宣言

が読み上げられ、恩徳讃を

全員で唱和し午後三時半散

会した。

(2-7面に関連記事)

道は私一人であらう!」◆仏法は私一人であらう!」◆歩みうるものでもない。よき友が欠かせないのである。◆様々な人と出会えば出会う程、苦しいことも多くなる、相手を傷つけてしまうこともある。…宗祖も苦悩された。…自分の寺に閉じこもるのではなく、まず組の活動を通して、ともに「法に問い、法を聞き、法を語る」よき友の輪を広げたいものである。(井上英樹)

教区だより

11・12月

11月14日(水)~16日(金)
別院常例 多田満之師(赤穂北組西光寺) 1時半
15日(水)
社推協常任委員会 10時半
18日(日)
江並教堂報恩講 岡山市
22日(木)
門徒推進員研修 加藤順教師(中央連研講師) 阪神北組源照寺
27日(火)~29日(木)
別院報恩講 法正良映師(備後教区)
12月1日(土)
第一土曜仏教講座 大村英昭師(大阪大学教授) 1時半
2日(日)~3日(月)
豊岡教堂報恩講 藤山達郎師(神崎組乗徳寺) 豊岡市
4日(火)~5日(水)
中央基推委員会総会 本山
5日(水)
門徒総代会評議員総会 10時半
8日(土)~9日(日)
中部・近畿仏社連絡協議会 京都
10日(月)~11日(火)
大阪矯正管区一泊研修会 大阪

11日(火)
京阪神都市圏都市開教本部会議 大阪 4時
13日(木)~14日(金)
第三連区推進専従員研修会 奈良
14日(金)~16日(日)
別院常例 小滝信生師(備後教区) 1時半
16日(日)
教区仏教青年「年忘れヤング広場」 1時
17日(月)
布教団副団長会 10時半 役員会 1時
18日(火)
近畿寺婦研修 奈良
19日(水)
企画推進室会議 4時
22日(土)~23日(日)
スカウト仏教章研修会 別院
25日(火)
結集大会常任委員会 10時半
組長会 1時半
結集大会実行委員会 3時
28日(金)
教務所御用納め

大阪 4時
奈良
1時半
1時
1時
奈良
4時
別院
10時半
1時半
3時

青僧会が聞法大会

HIO誌

◆10月1日神戸東組住職寺族同朋講座を妙善寺で開催。教区よりの派遣講師は西脇修師・赤穂北組寺族婦人同朋講座を教専寺。講師は藤栄行信師。研修読本作成部会◆1日~2日大阪府高石市で第三連区基幹運動研修会。教区基推委から山崎一朗副会長と総代会を代表して福井輝一氏(永上東組)◆2日教区仏婦委員総会◆3日結集大会行事部会と編集部会◆城崎で門徒総代一泊研修会打合せ会。来年度の二月二十一日と二十二日に当地で開催を予定◆4日城崎組住職寺族同朋講座を徳証寺。講師は谷川弘顕師◆5日播磨中組住職寺族同朋講座を光宗寺。講師は西脇修師◆6日別院第一土曜仏教講座。本山中央相談員の山内教嶺師◆出石組住職寺族同朋講座を正福寺。講師は和田智浄師◆6日~7日近畿ブロック仏教研修会を兵庫の担当で開催◆7日別院仏婦永代経法要。講師は川端正道師◆9日京都の本山近くの緑風荘で結集大会で

行われるシンポジウムの打合せ◆岡山市の江並教堂において都市開教推進部会◆10日別院で仏前結婚式が午前と午後二組ありました。午前の媒酌人は北撰組照願寺住職ご夫妻でした◆12日結集大会財務部会◆揖電東組住職寺族同朋講座を西福寺。講師は西脇修師◆揖電西組寺族婦人同朋講座を正専寺。講師は和田智浄師◆13日岡山南組光善寺(長田智海住職)本堂・庫裡落慶法要に本山よりの祝辞伝達に教務所長出席◆スカウト仏教章講習会打合せ◆14日仏社理事部会。第十七回総会、姫路・西播大会を竜野市民会館で来年五月十九日の開催予定など決まる◆14日~16日別院常例。講師は堀川宣裕師◆15日研修読本作成部会◆新宮組住職寺族同朋講座を西法寺。講師は西脇正文師◆17日教化センター委員会。先の臨時教区会で兵庫教区教化センター設立をはかる委員会設置規定の承認をえてから初の委員会となった◆18日結集大会庶務部会◆推進員役員会◆ビハラ推進部会。第三回の研修会には梯實圓師を講師に

生前のご苦勞を偲び
謹んで敬弔の意を表します。(敬称略)
阪神南組光輪寺住職
「顕真院釋祐正」 保科 祐正 11月9日 76才

仏青の集い

仏教青年の集いとして毎年開催される「仏青ヤングひろば」が、来る十二月十六日、日曜日に開かれる。会場は神戸別院とポートアイランドで、ポートアイランドではアイススケートも楽しむ日程としては、別院で午後一時に受付、ご法話を聴聞の後、会場を移し午後五時半頃ポートアイで解散。

参加費は一人千円(スケート代含む)で、参加希望の方は教務所までお申込み下さい。(担当は岡本)

法話カレンダー 申込みはお早く

例年、真宗教団連合から発行されております「法話カレンダー」(平成三年度版)を教務所でも取り扱っておりますので電話か葉書でお申込み下さい。価格は一部百四十円で三百部以上は割引になります。

39組の御同朋総結集大会

組名	開催期日	会場	参加数	講師・内容
阪神東	90. 8. 4	伊丹市立文化会館	1,100	竹内哲氏、式典、教化団体代表4名による体験発表、若婦人部のコーラス
阪神南	89.12.16	光輪寺	65	住職・坊守も参加して御同朋の意義や組内での問題点、状況など話し合う
阪神西	90. 9. 4	西福寺	500	藤沢量正師、組の活性化や連帯意識を高める目的で、雅楽依用勤行・演奏
阪神北	〃 7.30	川西市文化会館	1,127	藤田徹文師、体験発表やコーラス、日校生による献花、踊り・詩吟・民謡
神戸東	〃 6.10	西山記念会館	200	佐々木良見師、森田智師、組織と連研の活動状況発表、コーラス、三味線
神戸中	〃 7.21	光尊寺	155	小滝信教務所長、組内の寺族婦人有志による大正琴の演奏も花を添えた
神戸湊	〃 7.14	顕證寺	150	久堀弘義師、寺院後継者と連研修了者による体験発表、聖歌隊、大会宣言
神戸西	〃 9. 8	神戸別院	80	小滝所長、各組織の代表より組画後五年を経た組織経過報告、記念懇親会
北摂	〃 7.29	三田市農協	200	三宮義信師、小滝所長、話し合い・意見発表・アトラクション、追悼法要
神明	〃 4.29	養勝寺	580	仏婦名誉総裁大谷嬉子前裏方御臨席、久堀弘義師、仏婦式典、物故者追悼
淡路	〃 7. 8	洲本市勤労センター	330	豊島学由師、小滝所長、組織代表意見発表、決意表明、スウィングバンド
播磨東	〃 7. 7	大和殿ホール	125	小滝所長、式典、各教化団体代表による活動報告、講演のあと記念懇親会
播磨中	〃 7.29	光専寺	250	小滝所長、お念仏をひろげていく自覚をとの願いから子供たちによる式典
多可	〃 7.22	光福寺	200	杉本昭典師、小滝所長、歴史の中から同朋運動の必然性を学ぶ、決意表明
加古川	〃 7. 8	大和殿パレス加古川	450	中西智海師、組織代表の献花・献灯、龍大合唱団・民謡・踊り、決意表明
高砂	〃 7.30	高砂福祉保健センター	450	小滝所長、組旗・仏旗・連盟旗の入場行進、仏婦寺婦有志によるコーラス
神崎	〃 6.30	福崎文化センター	400	久堀弘義師、組内の坊守代表による意見発表、詩吟・法輪音頭・仏教讃歌
神姫	〃 7.28	船津町ふれあいの館	410	小滝所長、各組織代表と門徒推進員による意見発表、婦人会ほのぼの音頭
姫路東	〃 7.29	姫路東市民センター	500	花山勝友師、参加代表決意表明、真山一郎氏による浪曲、戦没者追悼法要
姫路南	〃 9. 8	姫路灘市民センター	400	岩田健三郎師、映画「春風の子供たち」の上映、地元有志による扇舞など
姫路中	〃 9. 1	花の北市民広場	570	久堀弘義師、寒香軒軒師が「旅ゆく親鸞」等仏教讃歌、代表の献花・献灯
姫路西	〃 9. 3	キャッスルホテル	300	直海玄洋師、参加者全員で会食、プロ歌手の歌と参加者による喉自慢大会
網干	〃 2.24	網干市民センター	500	高千穂正史師、寺婦の讃歌、寺青の勤行、組織代表体験発表、仏婦の踊り
揖電東	〃 6.29	円福寺	250	久堀弘義師、教区会議員及び各組織代表の決意と祝辞、仏婦ほのぼの音頭
揖電西	〃 8. 5	徳行寺	250	高田慈昭師、各組織団体の五年の活動報告と今後の展望の発表、決意表明
新宮	〃 8.26	宝林寺	200	藤田徹文師、組内教化団体代表による決意表明、連研中央教修の体験発表
赤穂南	〃 5.13	宝尊寺	300	清岡隆文師、音楽法要、代表者による体験発表、仏教婦人による法輪音頭
赤穂北	〃 7.22	光専寺	220	西脇正文師、仏社会員の司会で開会、各組織団体代表意見発表と活動報告
宍粟	〃 8.19	西光寺	287	小滝所長、総代・仏婦代表の体験発表、仏婦の法輪音頭や讃歌コーラス等
佐用	〃 7. 7	法覚寺	300	久堀弘義師、光福寺仏教婦人会による大正琴の仏教讃歌、最後に決意表明
多紀	〃 7.29	篠山町中央公民館	205	西脇正文師、本川智暁師、小滝所長、組の四か寺から有志アトラクション
氷上東	〃 8. 5	照蓮寺	200	小滝所長、基推委の代表が組の変遷の発表・御同朋の布教、婦人会の踊り
氷上西	〃 8. 5	正覚寺	150	松島法城師、組の仏婦役員の辞令交付、準備には会所のご門徒総出で協力
朝来	〃 8.26	和田山町幸徳殿	210	鷲山諦住師、決意表明、連研参加者の体験発表、舞踊・詩吟・カラオケ等
養父	〃 6.23	安楽寺	150	願照寺住職の御同朋の講演、西願寺住職の作法アラカルト、来賓祝辞など
出石	89.10. 9	農民環境改善センター	400	都呂須孝文師、各組織代表実践発表、インド舞踊、門徒有志の日本舞踊等
城崎	90. 6. 3	サンルートホテル	400	武邑尚邦師、河内美船師、組総代の献花・献灯、お話に参加者一同感銘す
岡山南	〃 8.27	西方寺	55	太田唯念師、総代会・仏壮・仏婦・寺婦各代表による体験発表、決意表明
岡山北	〃 7. 8	津山市社会福祉会館	300	太田唯念師、仏壮・仏婦・連研修了者の各代表による体験発表、決意表明

今なすべきことを「門主さまお言葉



オーロラビジョンにうつられた「門主さま

宗門の基幹運動である門信徒会運動・同朋運動を進める上で、大きな障害となっていた兵庫教区の組画が変更されて五年を経た今日、新しい組として活動を続けてこられた成果を持ち寄り、兵庫教区御同朋総結集大会が開催されますことは、またことに意義深いことであります。

今日の社会はさまざまの

行動ある念仏者に

大会会長あいさつ



小滝大会会長あいさつ

本日ここに、浄土真宗本願寺兵庫教区御同朋総結集大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。皆さん、お待ち申し上げておりました。この夏にかけて兵庫教区三十九組、全組の御同朋総結集大会を開催いただき、一万三千二百有余人の皆さんにお会いいたしました。以来再びおめにかかる機会を与えられました。どの結集大会も組が一丸となつて計画された盛會な行事でありました。ご配慮をいただきありがとうございます。私たちは、お念仏をいの

むずかしい課題をかかえています。そのなかでも、人間が本当に人間らしい生き方をするのがむずかしい。ここには同和問題をはじめ、さまざまの差別がかかわっています。親鸞聖人はすべての人々は阿弥陀如来のお慈悲の中にあつて平等であること、南無阿弥陀仏をいただいてこそ自分のいのちに責任を負つて生きる道が開かれることを教えて下さいます。願ひますと、親鸞聖人を宗祖と仰ぐ私たちの宗門は、時代の波を克服することができず、さまざまの差別体質を内にかかえてきました。私たち念仏者に課せられた責任が大きいことを感じます。阿弥陀如来のご本願を聞かせていただき、南無阿弥陀仏とお念仏を申しつつ、本当に大切なことは何かを考え、今なすべきことをなさねばなりません。明治維新後の宗門改革の

中でできた組は、当初管理の意味が強かったようですが、今日では伝道教化の役割が益々大きくなつています。一人ではできないこと、一か寺ではできないことを組の活動を通じて実現します。

本日の大会を契機に組画変更の目指したところが再確認され、門信徒会運動・同朋運動がすべての組・お寺・御同行によつて推進されますよう願ひいたします。

変更して以来六年目を迎へ、教区と組において、連研を始めいろいろな法座がもたれ、聞法と教化活動が展開されてまいりました。新体制によつて、さまざまな困難を克服され、あるいは前進をして今日にいたつておるのであります。この大会が、まさに点検と反省と展望に立っていることを確認していただきたいのであります。

(中略)

どうかこの大会を通して、私たち御同朋が行動ある念仏者として、いよいよ、組をあげて運動の第一歩を踏み出すことを決意する大会となりますよう期待して、大会会長のご挨拶といたします。

「十方衆生 ありがとう」



神戸ポートアイランドホールは7,000人で埋めつくされた。(撮影・西脇修)

大会の一日を追って

十一月七日は秋晴れ、神戸のポートアイランドホールは兵庫教区の御同朋七千人で埋めつくされました。「すばらしいかったです。音楽、礼拝、ご法話、シンセサイザー等、すべてに感動しました。全組の結集がこのような形でできるなんて……」と、絶賛されているのは前田幸子（赤穂南組専修寺門徒）さんです。ほんとうに大会は総結集へ盛りあがり「すばらしいかった」の一語に尽きることでしよう。

であい

朝九時半から受付開始、職員や手伝いのご門徒の方々はすでにこまひ。「バスの誘導係だったのですが、たいへんでした」とは横山清治（阪神西組広宣寺門徒）さん、「二階受付で弁当が足りなくなつて、一階から運ぶのに死ぬ思いをしました」「機谷秀昭さん（赤穂南組浄専寺）前日から大会レジュメの袋入れを手伝われた宮前とし子（淡路組萬行寺門徒）さんは「山のような資料の袋づめに汗だくになりましたが、いろいろな人と

も出会い、大きな仲間の力を感じました。当日は受付でのお弁当配りにまた汗だくになりながら、楽しく過ごしました。これほどの大会になると、準備に忙殺されます。「ご苦労さまです。ありがとうございます」といわなければなりません。大会は十時半から開会式。ステージにライトが……八人の子ども（神戸中組光尊寺、山手幼稚園）が自由にかけまわる。女性の美しい声が「十方衆生 こんにちは 十方衆生 ありがとう」と呼びかけます。スライドは地球をうつし、シンセサイザーは一転して「阿修羅へ。「限りなく人の世の闇は果てしなく続いた。むさぼりとくしみのかで、互いに傷つけあい殺しあつて……」と、現代社会をえぐるナレーション。スライドに名号が浮かび上がり、一同合掌、礼拝。龍谷混声合唱団のハーモニのなかに「重誓偈」が流れる。オーロラビジョンにご門主さまが……。荘重な言葉で「南無阿彌陀仏とお念仏を申しつつ、本当に大切に

ねがい

一人はコックリ、コックリ。三時二十分、舞台は一転して、シンセサイザー組曲「帰命」がポリウム一ぱいに会場に鳴りひびきました。もう眠つておれませんか。閉会式です。教区門徒推進員連絡協議会の中西正一さんが「ねがい」の大会宣言をされました。ステージにはくつきりと「南無阿彌陀仏」のお名号が映し出されます。「差別問題を自らのものとして取り組む。開法と伝道に励む。教化施設の充実につとめること」を教区内三十九組の全同朋として、力強い宣言です。「親から子に伝えなければ……」とは田中実（神戸西組宝珠寺門徒）さん、「最初から最後まで感動の連続」とは金川（姫路中組光蓮寺門徒）、さん、「長い時間座りなれていないので、おしりが痛くなりましたが、素晴らしい演出でした」とは梶田一男（加古川組善光寺門徒）さん。「レーザーやシンセサイザーは話には聞いていたが生では始めて感動しました」とは服部正昭（佐用組法覚寺）さんでした。

レーザー光線は「法輪」を、スモークの中に演出させます。終わりが近づき、さあ恩徳讃です。七千人の大合唱です。「如来大悲の恩徳」に何人も目が目にハンカチをあてておられました。大会実行副委員長の山崎一朗（出石組正福寺）さん、大内憲英（網干組浄念寺）さんです。感激の極みなんです。「一九九〇年こ

御同朋総集大会祝



祝賀会で大会名誉会長の豊原大潤元総長があいさつ

ひとみ

来賓として集まられた大阪教区教務所長の下間信男さんは「深く深く感銘」と、そして大阪の寺族婦人会代表の今井沢恵さん、仏教婦人会の藤末一子さんとはとどろき、こぼれだしてハ

いろう

午後四時半からは大会の来賓を中心に百名余りが出席してポートピアホテル南館で祝賀会が開催された。大会副実行委員長の大内憲英師（網干組浄念寺）の先導で来賓の方々が入場され、山本宣昭組長会長（淡路組萬行寺）が開会のことばを述べ開宴となった。真宗宗歌の後、豊原大潤元総長（阪神西組西福寺）歓迎の挨拶、松村了昌基幹運動本部長より祝辞があり乾杯となる。乾杯の音頭は堀静男宗会議員（姫路東組浄福寺門徒）。

続いて、祝辞に立たれたのは、歴代の兵庫教務所長を代表して蓮清典師（現山口教区選出宗会議員、教区会議長の田中法範師（神戸湊組光明寺）。また、藤田時男教区会副議長（神戸東組専念寺門徒）から祝電披露、アトラクションとして神戸東組照善寺住職で千属との芸名でも活躍の杉本正義師が歌を披露された。

その後、西脇正文実行委員長（揖斐西組超念寺）より御礼の挨拶があり山崎一朗副実行委員長（出石組正福寺）の閉会の言葉で二時間の宴を閉じた。

研修読本の発行は3月組長・教区基推委委員の方々を通じてご案内をしておりました「研修読本」発行予定（十一月七日）を延期させていただきます。ご承知のように昨年の七月より「研修読本」の作成を教区基推委研修読本作成部会ですすめております。新しい教材として教科書サイズの装丁で、作法編も含め部会委員より原稿は三百頁以上がすでに執筆されております。

（研修読本作成部会）



御同朋シンポジウム（右から）福間光超、村越末男、武邑尚邦先生と司会の西脇正文実行委員長



すばらしい熱演のシンセサイザー永江雅俊さん



大会宣言の中西正一氏

午後の部「ふれあい」の歌とトークはフォークシンガーの高石ともやさん。ろうそくの火が静かにゆれて、手を合わすおばあさん、なぜか今でも心に残る静かな姿」との歌声が流れました。静かに聞き入る七千人の聴衆、一万四千の耳。本願寺の合唱団に参加しておられる坊主さんは「ハリのある声、ささやく声、さすがフォークの元祖ですね。心にしみ入るんです」とうっとりした表情。「人生は長いもの、君は幸せもの、陽気に行こう」は最後の曲、ス

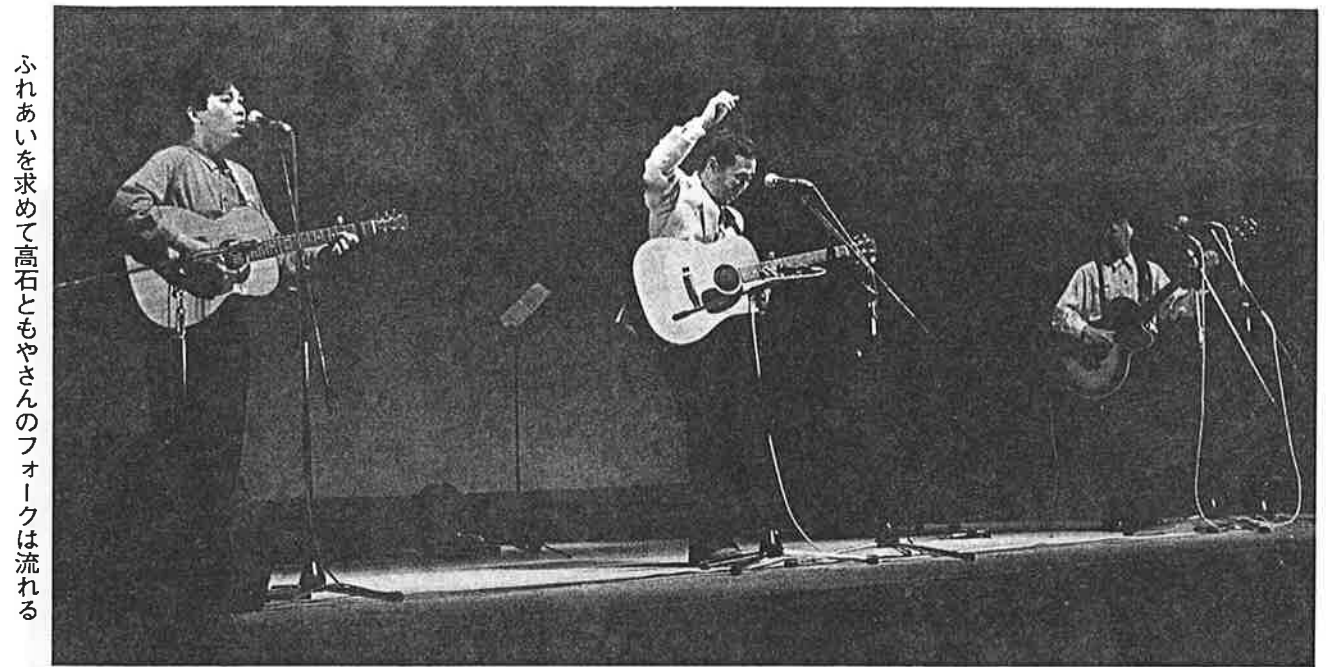
ふれあい

した。「ごはんがすこしかたくて」とはお年寄りの方「おかずの種類が多く、そして少しづつ、気配りのあるお弁当」とは小森元治郎（阪神西組乗警寺門徒）さんでした。

この休憩中に、組画変更で苦労された歴代教務所長に大会の感想を聞きました。蓮清典さんは「語るも涙、いうも涙、吉川孝臣さんは「感慨無量、徳川英範さんは「たいへんでした」と、いうにいえぬ当事者の苦しみ秘めての一言でした。それだけに言葉の重味があります。

めざめ

いよいよ「めざめ」の時はです。「御同朋の社会をめざして」のシンポジウムが始まりました。司会は大実行委員長の西脇正文（揖尾西組超念寺）さん。パネラーは四百年の御同朋としての歩みを説かれた福間光超（竜谷大学教授）先生、社会的事実としての同朋教団の現状を鋭く指摘された村越末男（大阪市立大学教授）先生、二十一世紀の御同朋はこうあってほしいと願われた武邑尚邦（本願寺派勧学）先生の三師。深き学問の上での討論だけに実りあるシンポジウムとなりました。「武邑先生がおっしゃったように「ありがとう」ではなく「おはすかし」から聴聞させていただきたい」とは前田しげ子（赤穂南組光蓮寺門徒）さんです。それぞれの胸のうちに得るものがあつたのです。内容がすこし高度でしたから、遠くからこられたご門徒の



ふれあいを求めて高石ともやさんのフォークは流れる



法話をされる久堀弘義先生

いのち

「であいのあとは「いのち」です。仏教婦人会総連盟講師の久堀弘義（神戸湊組行願寺）先生が法話をされました。出口好美（赤穂北組教専寺門徒）さんは「阿弥陀さまの教えによって、私自身がおろかな存在

なことは何かを考え、今なすべきことをなさねばなりません」とおっしゃいました。「長生きをさせていただいたおかげで、ご門主さまのお言葉を聞きましたことを喜んでおります」とは中浜勝男（淡路組萬行寺門徒）さんです。続いて大会会長の小滝了信（兵庫教区教務所長）さんがあいさつ、来賓を代表されて藤音晃祐（本願寺派総長）さんから祝辞をいただきました。

「共に生きる同朋のサンガをめざして、教区の組画変更が行われ、五年を経た今日、大会を新たなスタートとして……」と、力強く申されたのです。「身の引き締まる思い」とは綿織美範（阪神西組組長）さん「これからが課題、この成果をどう展開していくか」と、今後を見据えての発言は楠万千雄（赤穂南組組長）さんでした。

「さあ受付け」と準備が整った仏教婦人会のみなさま



なかま

五年前の昭和六十年四月一日、教区は新組画でスタートしました。「三つの宝物を求めよと、お釈迦さまは説かれました。ブッダ・ダルマ・サンガ。サンガは仲間です。でも、私たちはそこからいぶん、遠い所を歩いてきたのかも知れません」とのナレーション。教区基幹運動推進委員の西池哲俊（出石組勝林寺）先生が「私にとっての組画変更」を問題提起されました。続いて山口教区の小池俊文先生監修「青空の下」のスライドがスクリーンに映し出されます。福田明（淡路組宣徳寺門徒）さんは「組画変更のいきさつをスライドではじめて知りました」と。多くのご門徒もそうだったでしょうか。みんなが「なかま」なんです。

午後零時には昼食と休憩。おすし、日の丸ごはんとかずの四つ切り弁当です。お茶もついていて「深くご恩を喜び、ありがたういただきます」との食前の言葉。十五分後に「尊いおめぐみにより……ごちそうさまで